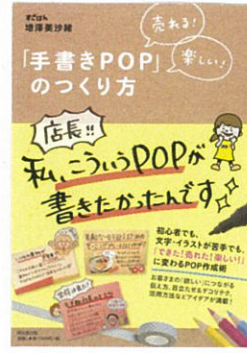


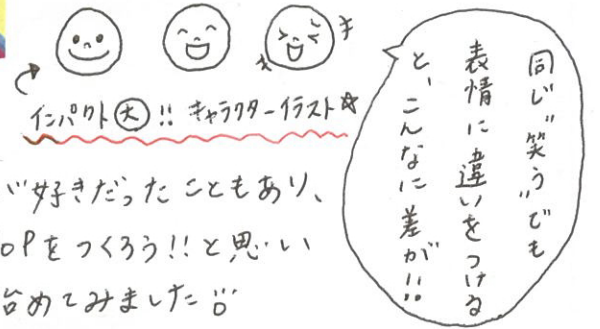
本びより No.8



じめじめとした梅雨になってきましたね。外に出るのがゆううつ... そんな時は、お家でゆっくり本を読むのもいいですね!



『売れる! 楽しい!』
「手書きPOP」の作り方
増澤 美沙緒 / 著
同文館出版 (674.5/マ)



元々糸巻を描くのが好きだったこともあり、図書館に飾るPOPをつくろう!! と思い本を見ながら 始めてみました。

- 材料
- ・色画用紙、厚紙
 - ・ハサミ、カッター
 - ・のり、ボンド
 - ・ダンボール
 - ・スポンジ
 - ・マスキングテープ
 - ・マジック 各種

「POP」というくくりは同じでも、本当に色々な種類があり、驚きでした。イラストの他にも、文字の大きさや書き方を変えるとそれぞれ良さが出てきます。つくっている内に自分なりのアイデアやイメージが浮かんできて、とても楽しく作業ができました! つくったPOPは館内にありますので、ぜひ探してみてください! 😊

平成28年6月29日 下松市立図書館発行

中学生の本棚から



下松中学校

『リーガル・ハイ 1st シーズン』
古沢良太 / 脚本 百瀬しのぶ / バラエティ 扶桑社 (913.6 モモ1)
ある日、女弁護士 黛と男弁護士 古美門が出会いました。黛は古美門に借金をしており、古美門法律事務所で働かないといけなくなりました。天才弁護士 古美門と黛は、タッグを組んでいろいろなことを乗り越えます。笑いあいの話なのでぜひこの本を読んでください。



『あと少し、もう少し』
瀬尾まいに / 著 新潮社 (913.6/セオ)
見るからに寄せ集め感満載な市野中学校の男子生徒6名が、県大会出場を目指して馬伝に取り組み物語です。この本は、同じ場面が語り手を変えながら繰り返して描写されていることで、登場人物と物語の興行きがかぐんぐん増していきまふ。とてもおもしろいので、ぜひ読んでみてください。



久保中学校

『小説ドラゴンクエスト7 エデンの戦士たち1~3』
土門 弘幸 / 著 SQUARE ENIX (913.6/モセ)
この本は、冒険好きな少年が個性あふれる仲間たちと出会い、一緒に旅をしていく本です。ある不思議なかけらで過去を行き来して、世界をまよつる魔王をどうやって倒すのかや仲間とはどうやって出会ったのか、とてもおもしろいです。



『王様ゲーム 滅亡6.08』 金沢 伸明 / 著
双葉社 (913.6/カナ)
僕がお薦めしたい本は「王様ゲーム 滅亡6.08」です。ある日突然王様からメールが届き、従わない者は死んでしまいます。段々と命令がエスカレートしていく中、皆で知恵を出し合い仲間を救うという手に汗握る物語です。



末武中学校

『海賊とよばれた男』 上・下
百田尚樹 / 著 講談社 (913.6 ヒヤ1/2)
主人公の国岡金蔵造の一生と、出光興産をモデルにした国岡商店が大企業まで成長する過程が描かれている本です。一度読むと、本の中の世界に引き込まれると思います。ぜひこの本を読んでみてください。



『精霊の守り人』
上橋 菜穂子 / 著 偕成社 (913/ウエ)
百戦錬磨の女用人棒バルサが皇子チャグムを助け、奮闘する物語です。短槍を武器に戦うシーンは迫力満点です。また舞台は精霊のすむ異界へと広がっています。旅を続けながら個性ある仲間やバルサの過去にもふれていきます。二人の絆に感動がされる一冊です。



おすすめライブラリー

『漂流郵便局 届け先のわからない手紙。預り封』
久保田 沙耶 著 小学館 (719.0/クボ)

みなさんは、ビンの中に手紙を入れて海に投げたなど、誰に届くか、いつ届くかわからない手紙を出したことがありますか？

この本では、届け先のわからない手紙を受け付けるたった一つの郵便局「漂流郵便局」に届いた手紙が紹介されています。

神様へ、七つたて方へ、未来の自分へ、宇宙人へ...、大切な人や大切な物などへあてたこのこもった手紙がいっぱいあります。



『佐藤 勝彦の眠れなくなる宇宙入門』
佐藤 勝彦 宝島社 (440.2/サト)

北斗七星を起点に大きなカーブを描く

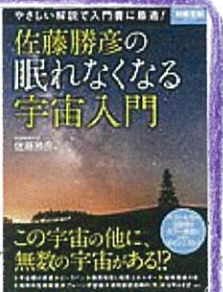
「春の大曲線」。織女星ベガ、牽牛星アルタイル

はくちょう座デネブの3つの星をつなぐ「夏の大三角」。

「冬の大三角」は、こいぬ座のプロキオン、オリオン座のベテルギウス、おおぐま座のシリウスをつなぎます。

季節ごとに姿を変える夜空の星々について、学んでみるのは、いかがでしょうか。

過去から未来への宇宙のはなしや、地球以外の星にも生命はすんでいるのかなど、写真やカラー絵などの説明とともに書かれていて、読みやすい1冊です。



『この世界が消えたあとの科学文明のつくりかた』
ルイス・ダトネル 著 東郷えりか 訳 河出書房新社 (504/ダト)

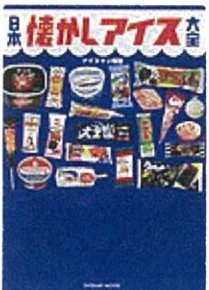
子供の頃、ノストラダムスの予言を信じていて1999年になるのが恐ろしかったものです。当時は人間がいっぺんに死滅してしまうのではないかと考えていたが、大人になつた今は、それはちょっと不自然な気がします。むしろ何割かの人は生き延びるというほうが自然ではないでしょうか。そして、一度文明を経験した人類は、それが崩壊したからといってすぐに忘れられるという訳でもないように思います。何とか元の便利な生活を取り戻そうとするのでは？

さて、この本では実際に文明が失われたことを想定して書かれた、世界再建のためのマニュアル本です。私たちの生活を成り立たせている基盤とは何かを知るという意味では、平和な今でももちろん役に立ちますよ。



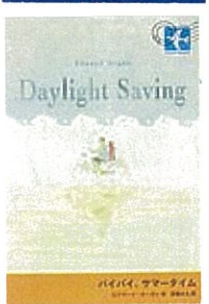
～夏を涼しく、楽しく～

『日本懐かしアイス大全』
アイスマン福留 著 辰巳出版 (588.3/アイ)
昭和のアイスがズラリ!!
この夏懐かしのアイスクリームを食べてみませんか？



『バイバイ、サマータイム』
エドワード・ホーガン 著
安達まみ 訳 岩波書店 (933/ホガ)

ダニエル少年の微妙な心理を描く、サスペンス仕立ての青春小説です。



『自然の力で夏をのりきる暮らし術』
農山漁村文化協会/編 農山漁村文化協会 (590/シゼ)

ガマンする夏。ではなく、楽しむ夏。のために、ぜひ読んでみて下さい。



『いるの いらないの』
京極夏彦/作 町田尚子/絵 (E/マチ) 岩崎書店

こわいです。ず～とあと引きます。さいごのページをめくったことを後悔しますよ。



移動図書館の弱みとおおぞろの強み

市民のみずさんのお宅近くまで行くおおぞろ号ですから、利用者の方はほとんど歩いて来て下さいます。

ですから一番の悩みは「雨傘」です。足元の悪さ(た)雨にかえて風が強い日には、本当に申し訳ない気持ちになります。

ですが、おおぞろ号は車の中に書架がある「内架式」という図書館車ですから、一旦車の中に入って頂ければ「雨風気にせず」安心に本を選んで頂けます。でか(か)や(り).....

「火・水・木曜日」は天気になんね!!

(ちなみに県内他市の移動図書館車も「内外架式」が多いです。

